

⑦ 審判上の確認事項

- 1 本大会は、2017年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び、（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部としての取り扱いに準ずる。
※ リベロ・プレーヤーの取扱いは、平成28年5月25日付で改正されたものを採用する。
- 2 プログラムに記載された時刻は、プロトコール開始時刻である。
- 3 合同練習時に、監督は記録用紙にサインをする。
- 4 トスの後、キャプテンは、記録用紙にサインをする。
- 5 各コートにはウォーム・アップ・エリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 6 セット間は、エンドライン後方のフリー・ゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 7 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。（相手チームに向かってのガッツポーズ等）
- 8 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意すること。また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代選手とタッチ（ハイタッチ）などを行わないこと。
- 9 ワンボールシステムで試合を行うので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。
- 10 タイム・アウトの要求はベンチから立ち上がり、コールしながらオフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求すること。サブスティテューションについては、クイックサブスティテューションシステムを採用する。（交代時にナンバーパドルを使用する。）
- 11 試合中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。モップの使用は、タイム・アウト中とセット間及び審判員が危険と判断した場合のみとする。